

2008年12月期 第3四半期
決算説明資料



2008年11月
株式会社ファンコミュニケーションズ

目次

第1章 2008年12月期 第3四半期 決算実績P3

第2章 事業の状況P13

参考資料 P26

第1章

2008年12月期 第3四半期 決算実績

2008年12月期 第3四半期 ポイント

■ 売上高が第3四半期(1月～9月)で減収から増収に転換

(前年同期比1月～3月:△6.9%→1月～6月:△2.9%→1月～9月:+1.4%)

■ 経常利益の前年同期比減収率が改善

(前年同期比1月～3月:△18.3%→1月～6月:△9.2%→1月～9月:△6.5%)

■ 第3四半期(7月～9月)の売上高が過去最高を達成

(第2四半期対比で前受け金の調整前で実質7.9%の増収)

■ A8.net(PC向け)の売上高(成果報酬)が着実に回復

(売上高1～3月:1,098百万円 → 4～6月:1,196百万円 → 7～9月:1,228百万円)

■ A8.netのアフィリエイトサイト数が順調に増加

(前年同期比25.6%増の664,730サイト/2008年9月末)

■ A8.netの稼働広告主数はまだ減少傾向

(前年同期比8.6%減の2,250社)

■ Moba8.net(モバイル向け)は順調な拡大

(売上高が前年同期比83.5%増の6.9億円)

(アフィリエイトサイト数が大幅に増加(前年同期比63.2%増の46,938サイト/2008年9月末)

(稼働広告主数が大幅に増加(前年同期比41.3%増の629社/2008年9月末)

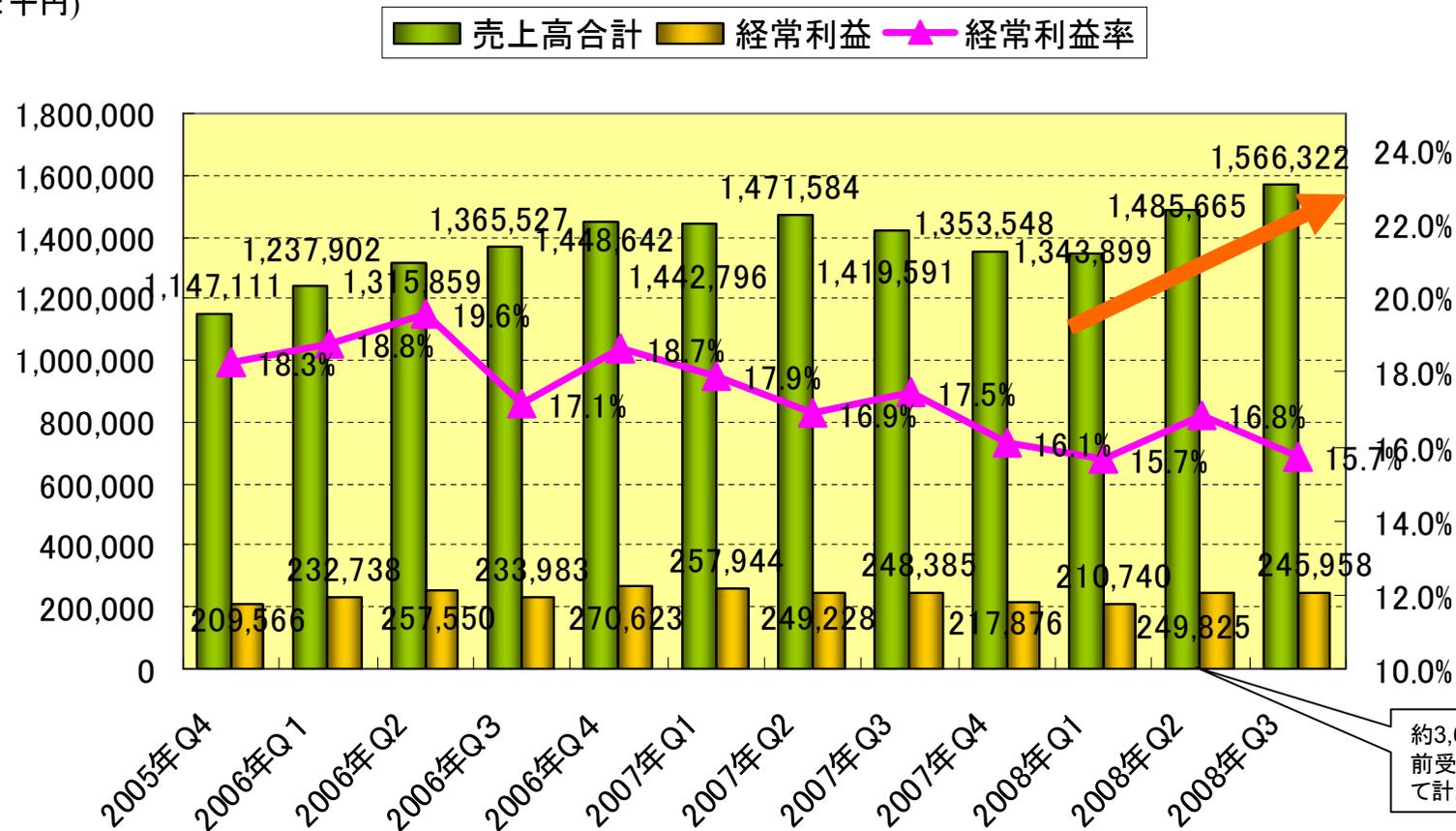
前年同期との比較

(単位:千円)	2008年 第3四半期	2007年 第3四半期	対前年同期 増減率	当期構成比
売上高	4,395,886	4,333,972	1.4%	100%
営業利益	687,134	736,234	△6.7%	15.6%
経常利益	706,524	755,558	△6.5%	16.1%
純利益	381,939	402,309	△5.1%	8.7%
売上高 経常利益率	16.1%	17.4%	△1.3ポイント	—
従業員数(役員含まず) (うち正社員数)	135人 (107人)	158人 (111人)	△ 14.6% (△3.6%)	—

売上高はA8.netの回復、Moba8.netおよび自社媒体の成長で前期比プラスに転じたが、利益面はまだ前期に届かず。売上比率の高いA8.netの新規稼働がまだ弱く利益率は若干ダウン。なお、当期は中間決算時に出資先企業の減損処理に伴う評価損を40百万円計上している。

売上高、経常利益、経常利益率の推移 (四半期ベース)

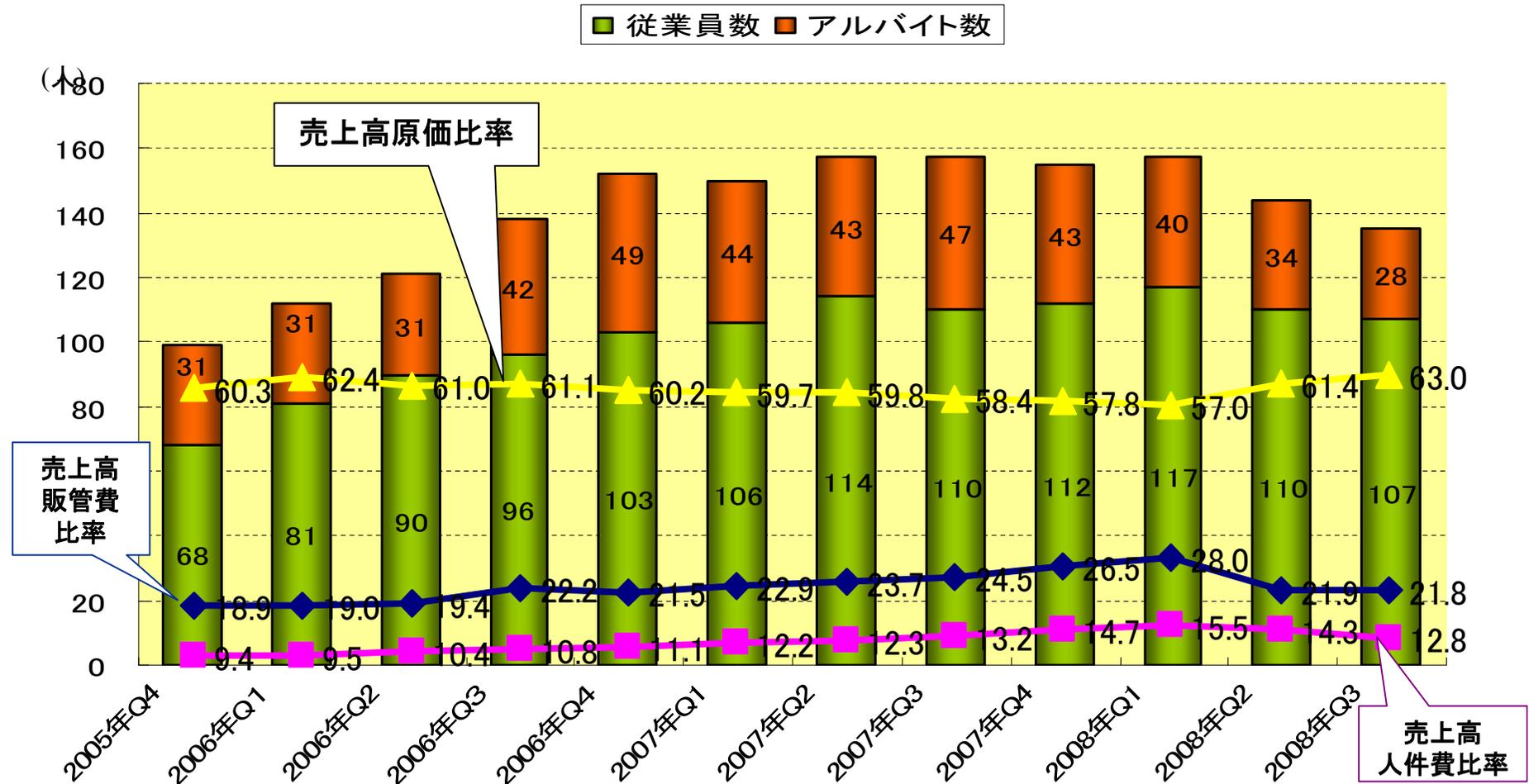
(単位:千円)



約3,600万円分の前受け金を売上として計上

2008年Q3の売上高は、Q2に続き2四半期連続で過去最高を達成。モバイル向けアフィリエイトと自社媒体売り上げが伸長したこともあるが、PC向けアフィリエイト事業が前年を上回る状態に回復しつつある。2008年Q3の経常利益はQ2より若干減少しているが、これはQ2で未稼働広告主の基本料前受金の売上計上(約3,600万円)をした特殊要因。経常利益は前年同期レベルまで回復しつつある。

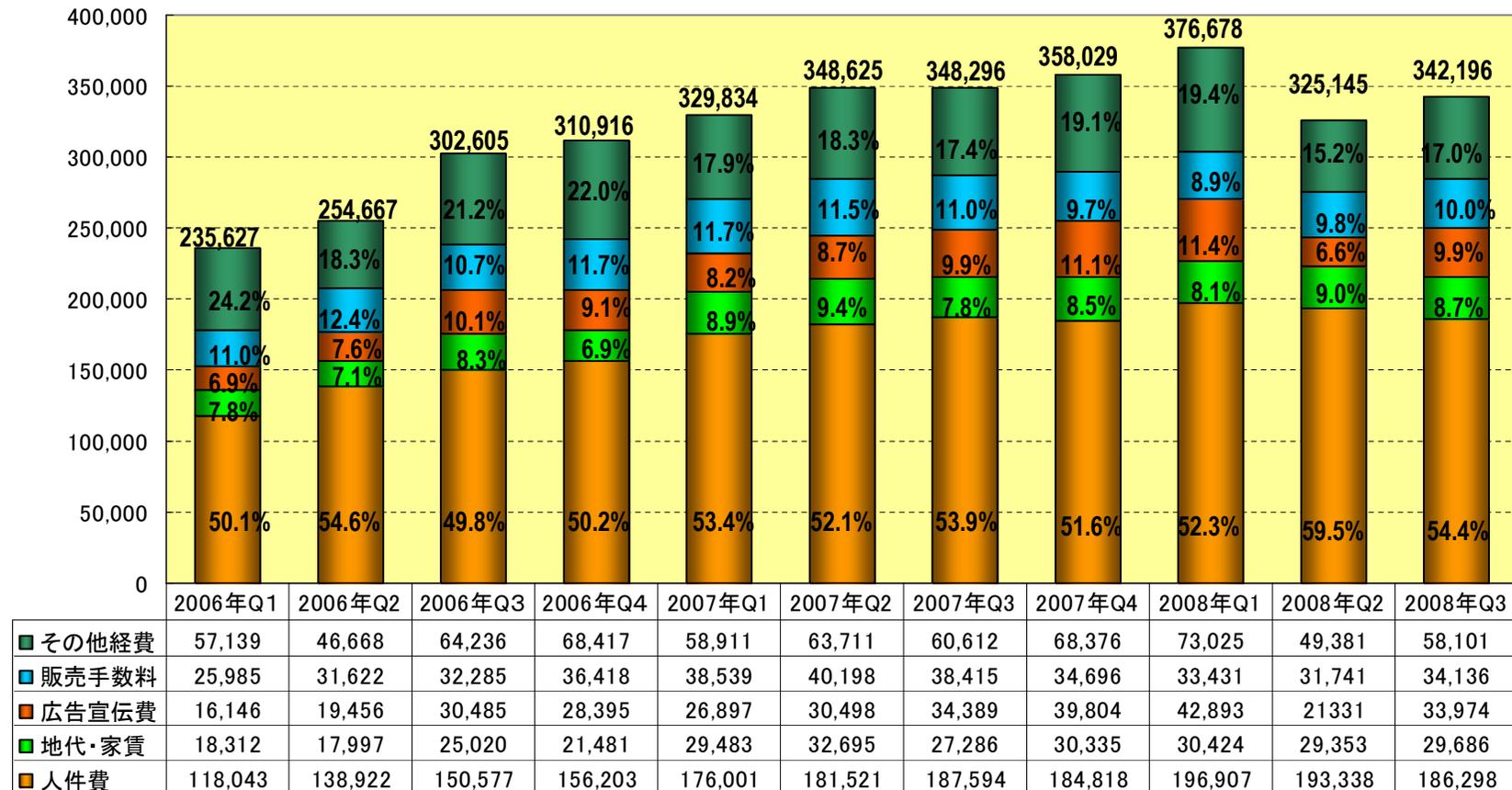
従業員数および原価率、販管費比率の推移



2008年Q1よりデータセンターの賃借料の一部を販売管理費に計上していたものをQ2でさかのぼって売上原価に計上(約10百万円)したことで、売上高原価比率が上昇し、売上高販売管理比率が低下している。

販売管理費の推移

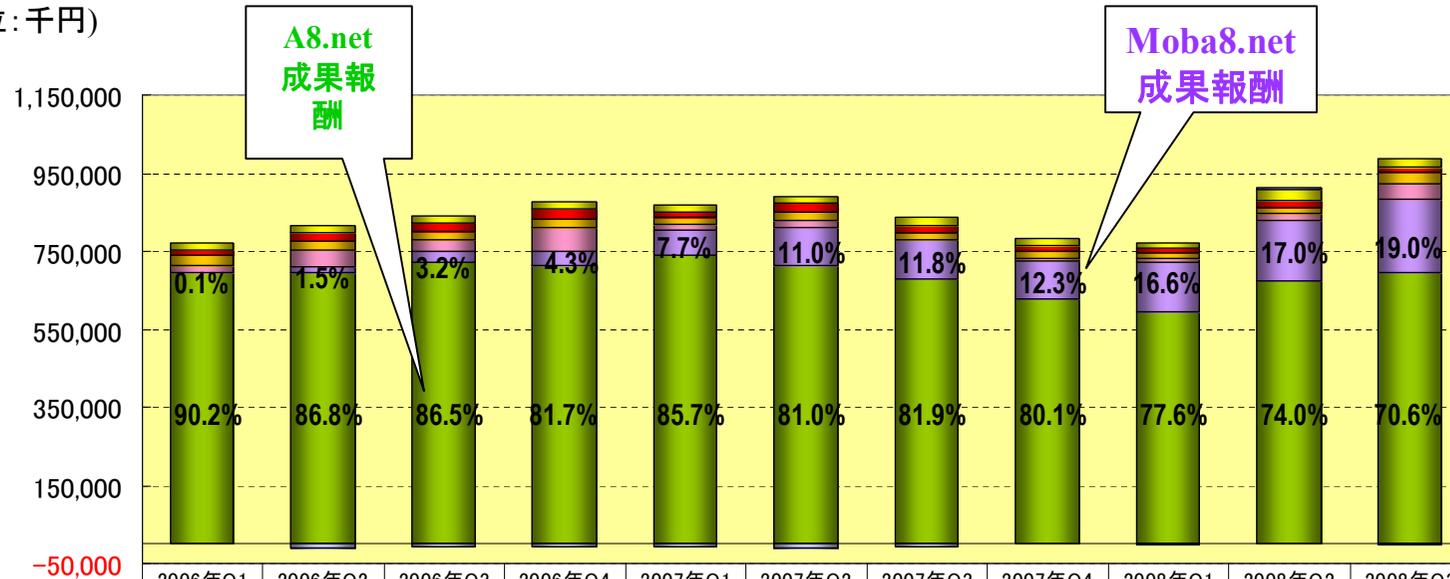
(単位:千円)



2008年Q2の「その他経費」の減少はデータセンターの賃借料の一部を販売管理費から売上原価に変更したことと、Q1で計上していた研究開発費(約5百万円)をQ2でマイナス計上したため。また2008年に入り、全ての項目に対して費用最適化を続けている。

売上原価の推移

(単位:千円)



	2006年Q1	2006年Q2	2006年Q3	2006年Q4	2007年Q1	2007年Q2	2007年Q3	2007年Q4	2008年Q1	2008年Q2	2008年Q3
他勘定振替高	0	△ 11,216	△ 5,819	△ 5,128	△ 6,074	△ 8,626	△ 6,722	1,577	△ 4,706	4,703	△ 1,984
経費	17,572	18,234	20,365	19,015	15,950	17,233	19,779	16,359	12,339	27,043	22,072
人件費	17,436	20,064	19,448	27,421	14,568	19,683	18,156	14,015	11,724	18,488	14,755
媒体費	24,590	20,939	21,715	21,770	17,170	21,984	21,107	18,003	13,587	16,617	28,075
キャンペーン	15,669	45,981	29,974	58,518	15,845	20,090	0	9,053	11,238	15,230	39,507
Moba8.net成果報酬	482	11,798	26,898	37,859	65,938	96,814	97,974	96,510	127,524	155,344	187,686
A8.net成果報酬	696,910	697,120	722,319	713,242	737,962	712,977	679,162	627,282	593,910	675,350	696,166

注1: 他勘定振替高の2006年第2Qが第1Qに比べて1千100万円減少しているのは、自社開発コストを資産計上した金額が、1千万円あることによります。

注2: 他勘定振替高の2006年第3Qが第2Qに比べて5百万円増加している要因は、自社開発コストを資産計上した金額が、第2Qに比べて5百万円減少していることによります。

注3: 自社媒体仕入は2007年第1Qからレベニューシェア分を売上原価で表示している為、増加しています。2006年以前は、売上のマイナスとしていた。

注4: 人件費は、組織変更したことにより、2007年第1Qから技術開発部のみを製造原価へ振替しています。2007年第2Qから情報システム部のみソフトウェア計上に対応する部分のみ製造原価へ振替しています。

成果報酬が増えたのは売上げが増加したため。売上げに対する比率にあまり変化は見られない。
経費の増加は2008年Q2よりデータセンターの賃借料の一部を販売管理費から売上原価に変更したため。

2008年12月期第3四半期キャッシュフロー

(単位:千円)	2008年 第3四半期	2007年 第3四半期	対前年同期増減額
I 営業活動による キャッシュ・フロー	337,753	338,115	△362
II 投資活動による キャッシュ・フロー	△470,651	△247,677	△ 222,974
III 財務活動による キャッシュ・フロー	△373,706	△256,743	△ 116,963
IV 現金及び現金同等物の 増減額	△506,604	△166,305	△340,299
V 現金及び現金同等物の 期首残高	1,504,936	1,589,557	△84,620
VI 現金及び現金同等物の 期末残高	998,331	1,423,251	△424,920

税引前純利益657百万円
法人税等支払384百万円

投資有価証券の償還収入
3,200百万円
投資有価証券の売却収入
100百万円
投資有価証券の取得費用
3,670百万円

自己株式取得294百万円
配当金支払102百万円

2008年12月期第3四半期 貸借対照表

(単位:千円)	2008年第3四半期	2007年第3四半期	2007年通期
資産の部			
流動資産	2,630,538	3,738,638	3,837,846
現金及び預金	959,295	1,364,374	1,466,019
受取手形	884	—	—
売掛金	669,138	586,009	535,477
有価証券	947,472	1,055,390	1,787,051
抵当証券	—	700,000	—
その他	81,301	63,813	81,112
貸倒引当金	△27,553	△30,954	△31,813
固定資産	2,033,370	807,814	862,362
有形固定資産	63,352	66,321	64,708
無形固定資産	158,019	126,231	143,686
投資その他の資産	1,814,807	615,831	654,494
貸倒引当金	△2,808	△571	△527
資産合計	4,663,909	4,546,453	4,700,209
負債及び純資産(資本)の部			
流動負債	1,271,979	1,228,107	1,281,150
買掛金	927,815	782,489	739,121
未払法人税等	75,110	89,380	196,935
その他流動負債	269,052	356,237	345,091
固定負債	92,799	59,816	73,568
負債計	1,364,778	1,287,923	1,354,718
純資産(資本)	3,299,131	3,258,529	3,345,490
負債及び純資産(資本)合計	4,663,909	4,546,453	4,700,209

当期より抵当証券を有価証券に含めて表示しております。

2008年12月期業績見通しとの比較

(単位: 百万円)	2008年 第3四半期 実績	2008年 12月期 見通し	対通期見通し 進捗率
売上	4,395	5,900	74.5%
経常利益	706	910	77.6%
当期利益	381	520	73.3%

【参考資料】

	2008年12月期 予想	2007年12月期 実績
1株当たり 期末配当金	1,200円	1,200円

業績見通しについては、期首発表から変更はございません。

第2章

事業の概要

サービス区分別売上高の内訳

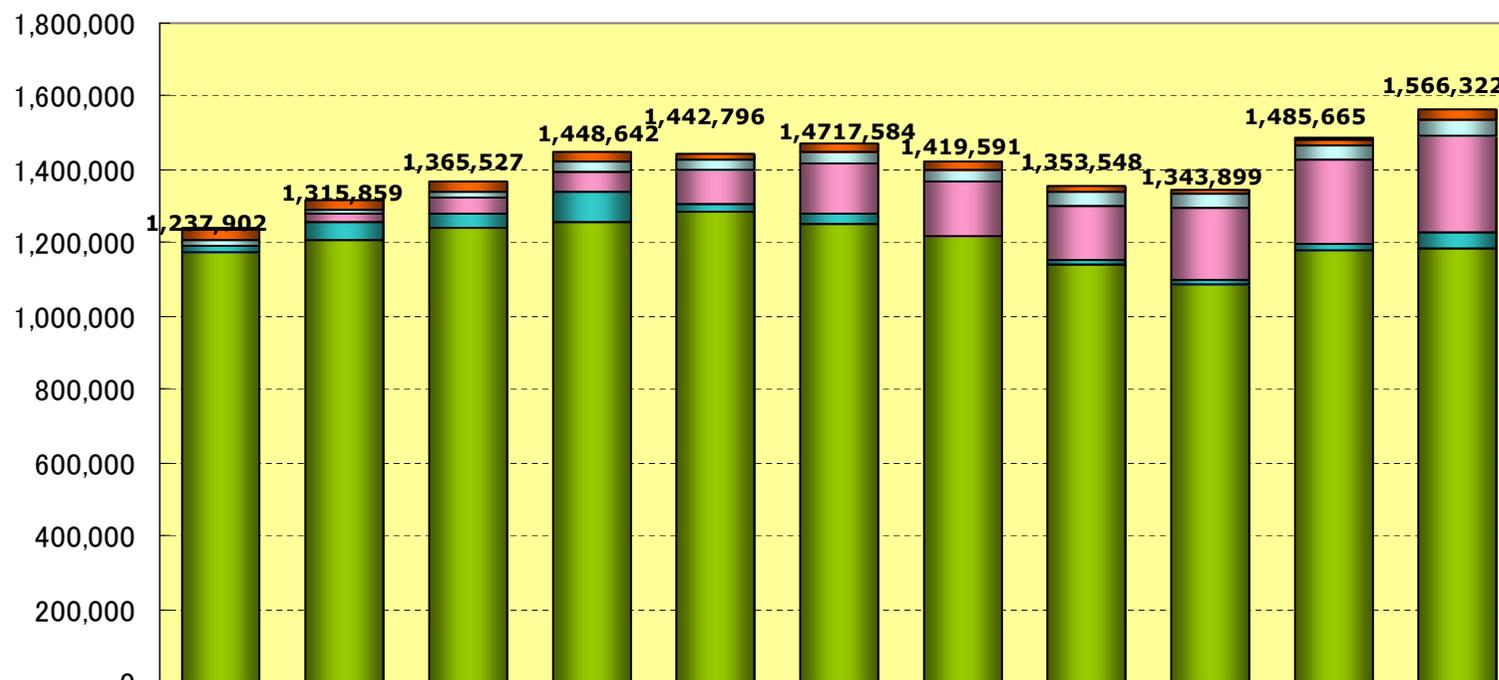
(単位: 千円)	2008年 第3四半期	前年同期	対前年同期比 増減率	2008年 第3四半期構成比
アフィリエイト広告サービス	4,213,762	4,179,886	0.8%	95.8%
A8.net	3,523,317	3,803,575	△7.4%	80.1%
キャンペーン(上記 「A8.net」内に含む)	(75,657)	(47,033)	60.9%	(1.7%)
Moba8.net	690,445	376,311	83.5%	15.7%
自社媒体運営	123,258	97,259	26.7%	2.8%
他社媒体広告販売	55,467	55,697	△0.4%	1.3%
その他売上	3,397	1,129	200.9%	0.1%
売上高合計	4,395,886	4,333,972	1.4%	100.0%

Moba8.net、自社媒体の売上高が大幅に伸長した。自社媒体はモバイルメディアに特化し売上を伸ばした。A8.netは前年同期比でマイナスではあるが本年Q1を底に回復しているため、前年同期比の減少率は縮小している。
 ※従来、売上計上していなかった前受金のうち、契約日から1年経過したものについて、当中間期に売上としてA8.netで35,532千円、moba8.netで609千円を一括して振り替えた

サービス区分別売上高の推移

(四半期ベース)

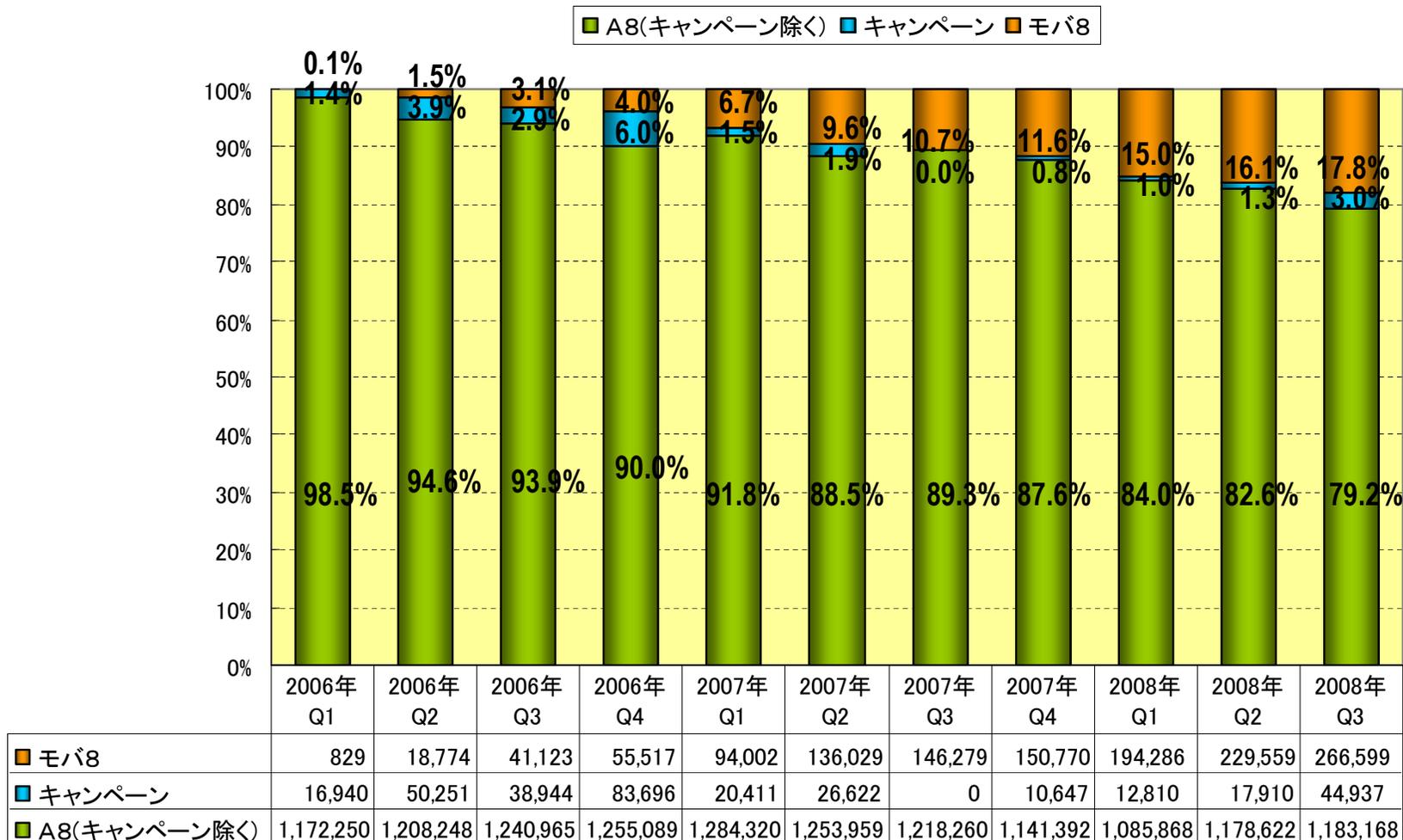
(単位:千円)



	2006年Q1	2006年Q2	2006年Q3	2006年Q4	2007年Q1	2007年Q2	2007年Q3	2007年Q4	2008年Q1	2008年Q2	2008年Q3
■ その他売上	1,155	300	400	400	500	400	229	123	143	3,032	221
■ 他社媒体	28,433	24,538	23,452	25,048	15,515	20,220	19,961	16,604	10,405	15,826	29,235
■ 自社媒体	18,294	13,745	20,640	28,890	28,046	34,353	34,860	34,010	40,385	40,713	42,159
■ Moba8.net	829	18,774	41,123	55,517	94,002	136,029	146,279	150,770	194,286	229,559	266,599
■ キャンペーン	16,940	50,251	38,944	83,696	20,411	26,622	0	10,647	12,810	17,910	44,937
■ A8.net(キャンペーン除く)	1,172,250	1,208,248	1,240,965	1,255,089	1,284,320	1,253,959	1,218,260	1,141,392	1,085,868	1,178,622	1,183,168

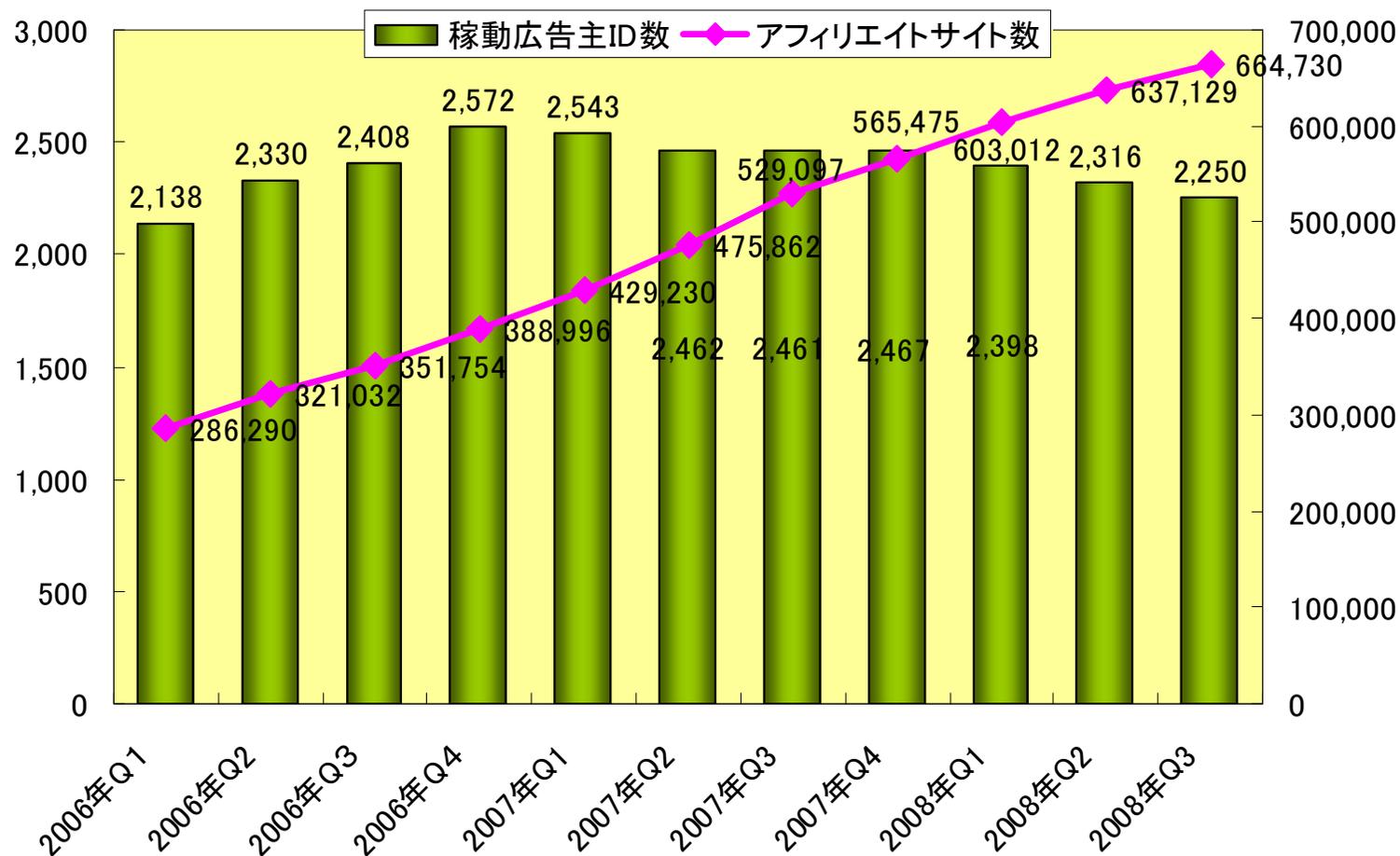
4四半期連続で低下していたA8.netの売上高が、成果報酬の増加にともない2四半期連続で増加となった。

アフィリエイト広告サービス売上高構成比の推移



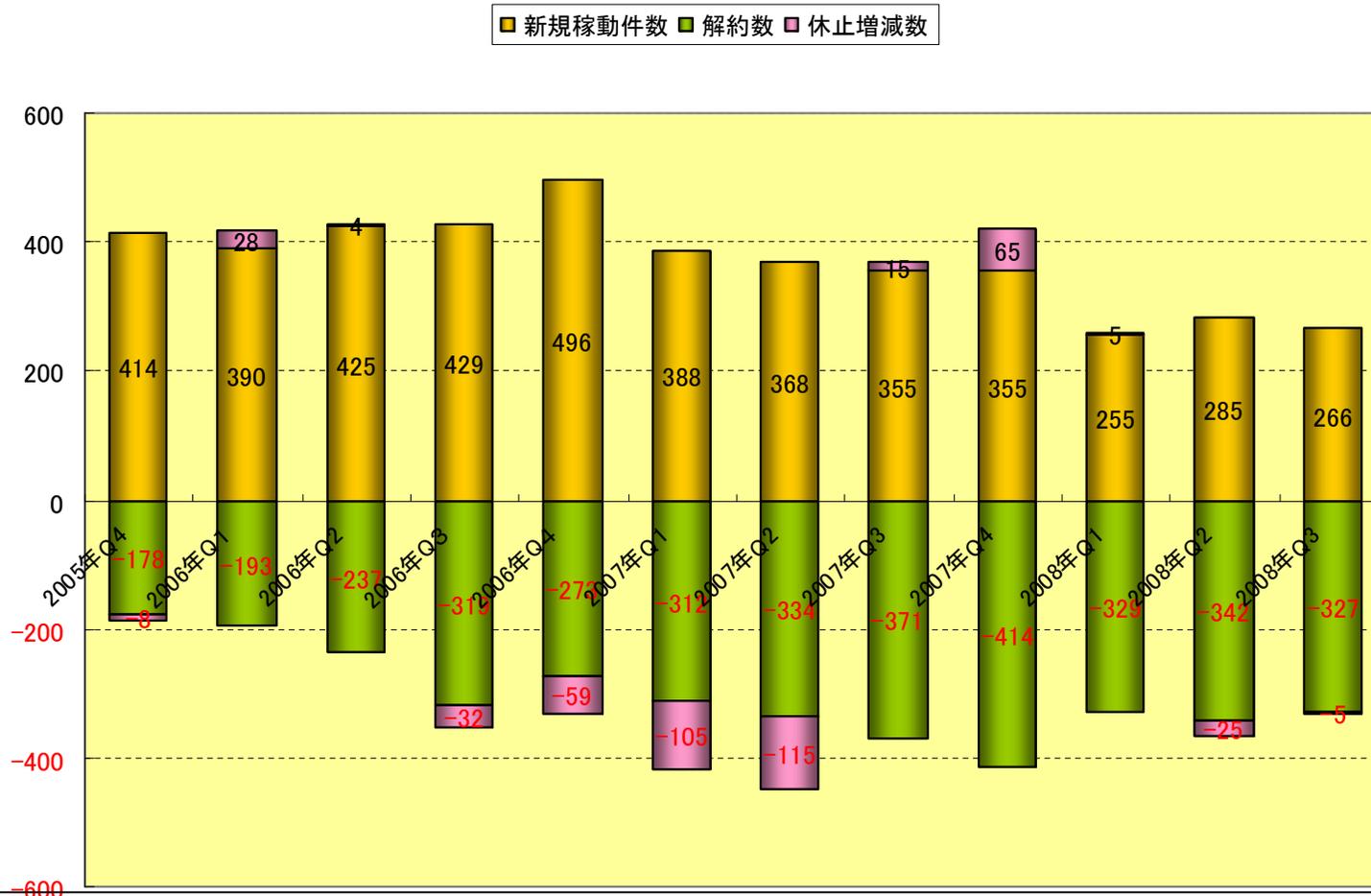
Moba8.netの売上増加に伴い構成比率も伸長。「キャンペーン」売上の中心は金融関連。若干回復してはいるが、金商法施行やグレーゾーン金利撤廃などの影響が引き続き残っている。

広告主、アフィリエイトサイト数の推移



アフィリエイトサイト数は順調に増加している。稼動広告主数については2006年Q4をピークに減少傾向が続いている。これにともない利益率の高い月額利用料の売上分が落ち込んでいる。

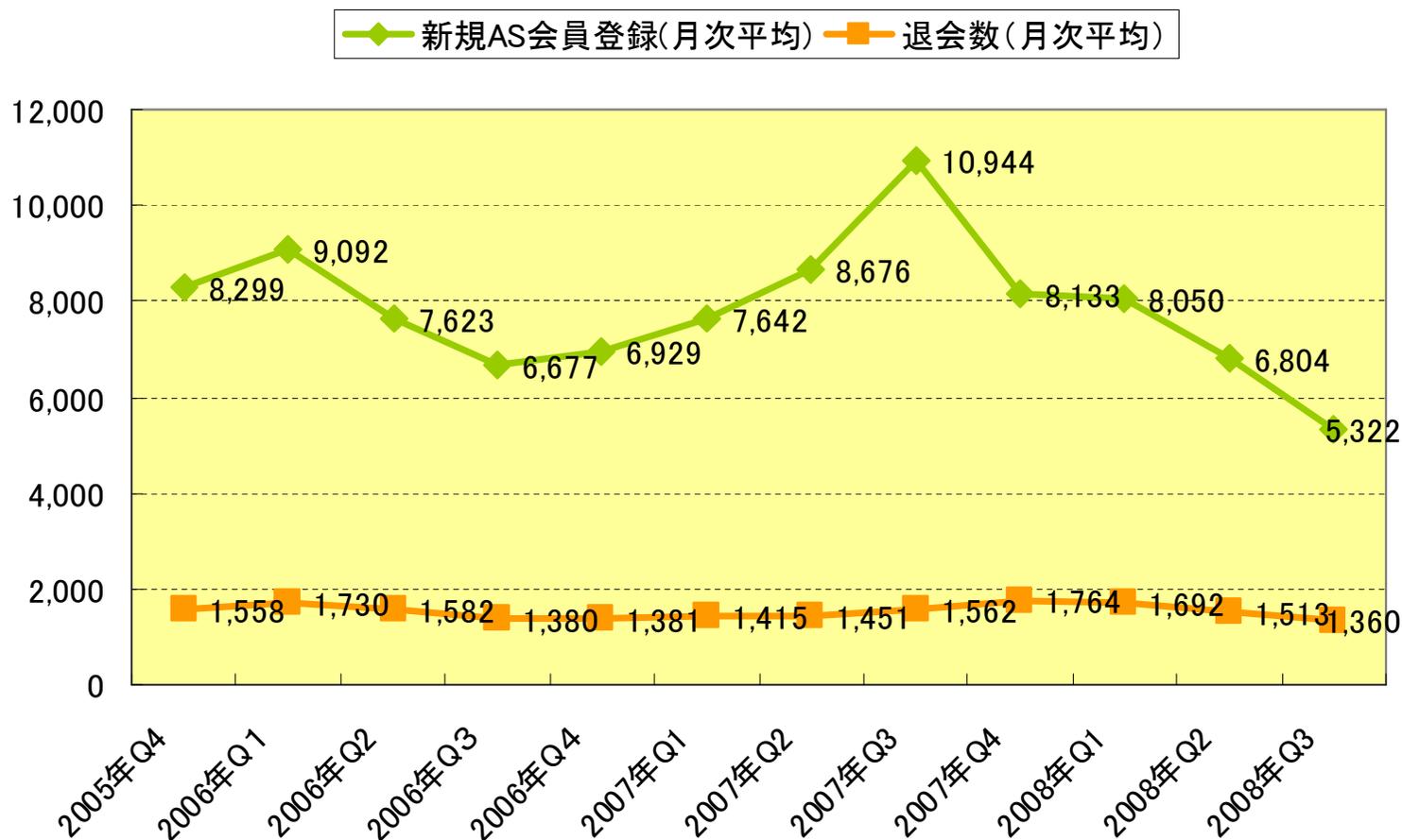
広告主の新規稼働、解約数の推移



新規稼働広告主がペースダウンしている要因は、「新規広告主の獲得件数」から「質の高い広告主の獲得」に営業の重点を置くように方針変更したため。「解約数+休止増減数」は昨年より改善傾向にはあるものの、まだ広告主の希望に添えない、景況の悪化などによる撤退など、複合的な課題が残る。

A8.net

AS会員登録・退会数の月次平均推移

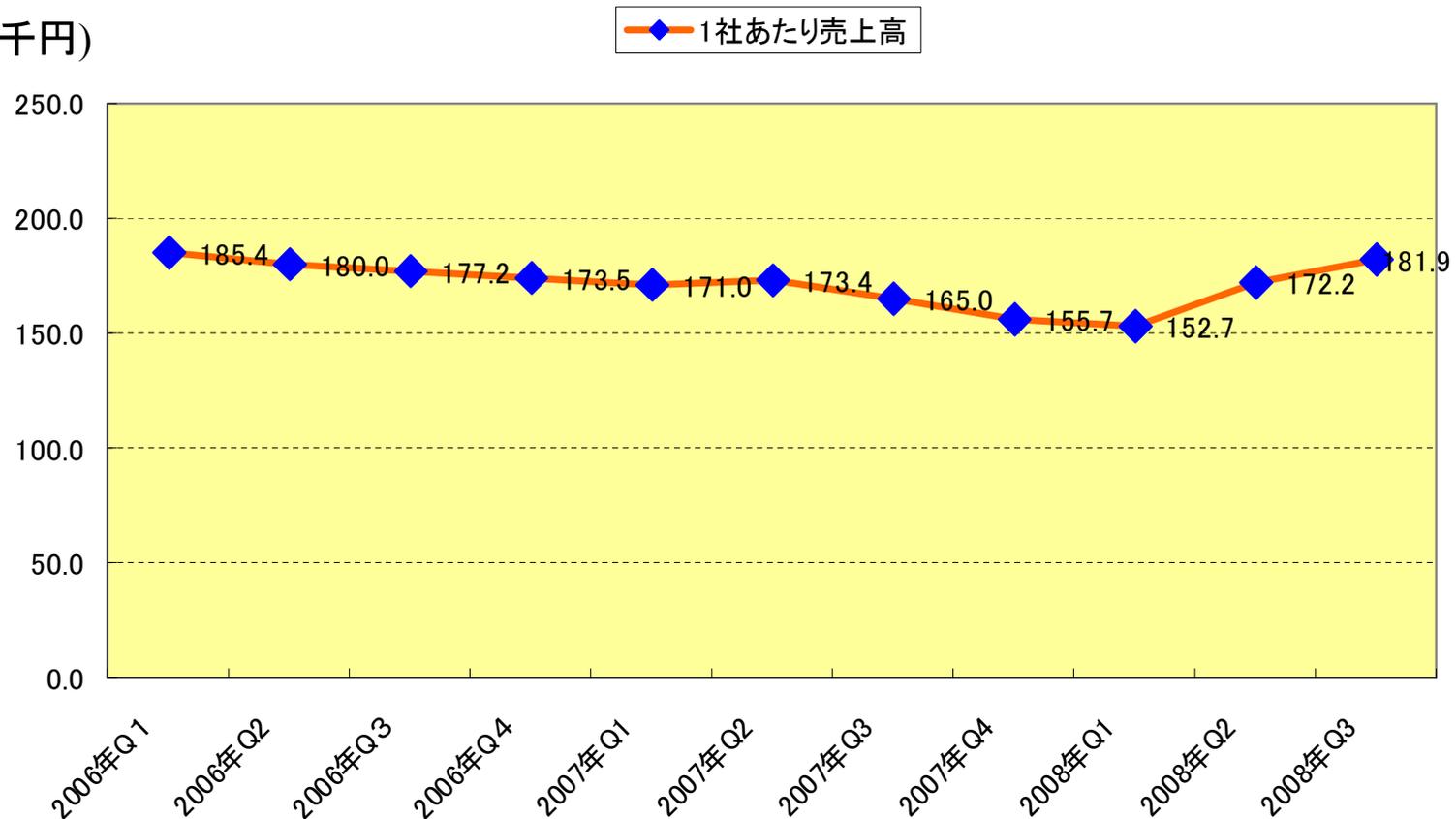


A8.netの新規AS会員登録は鈍化。これは数よりも活動の質を高める改善を行っているため。

A8.net

1広告主あたり月次売上高平均推移

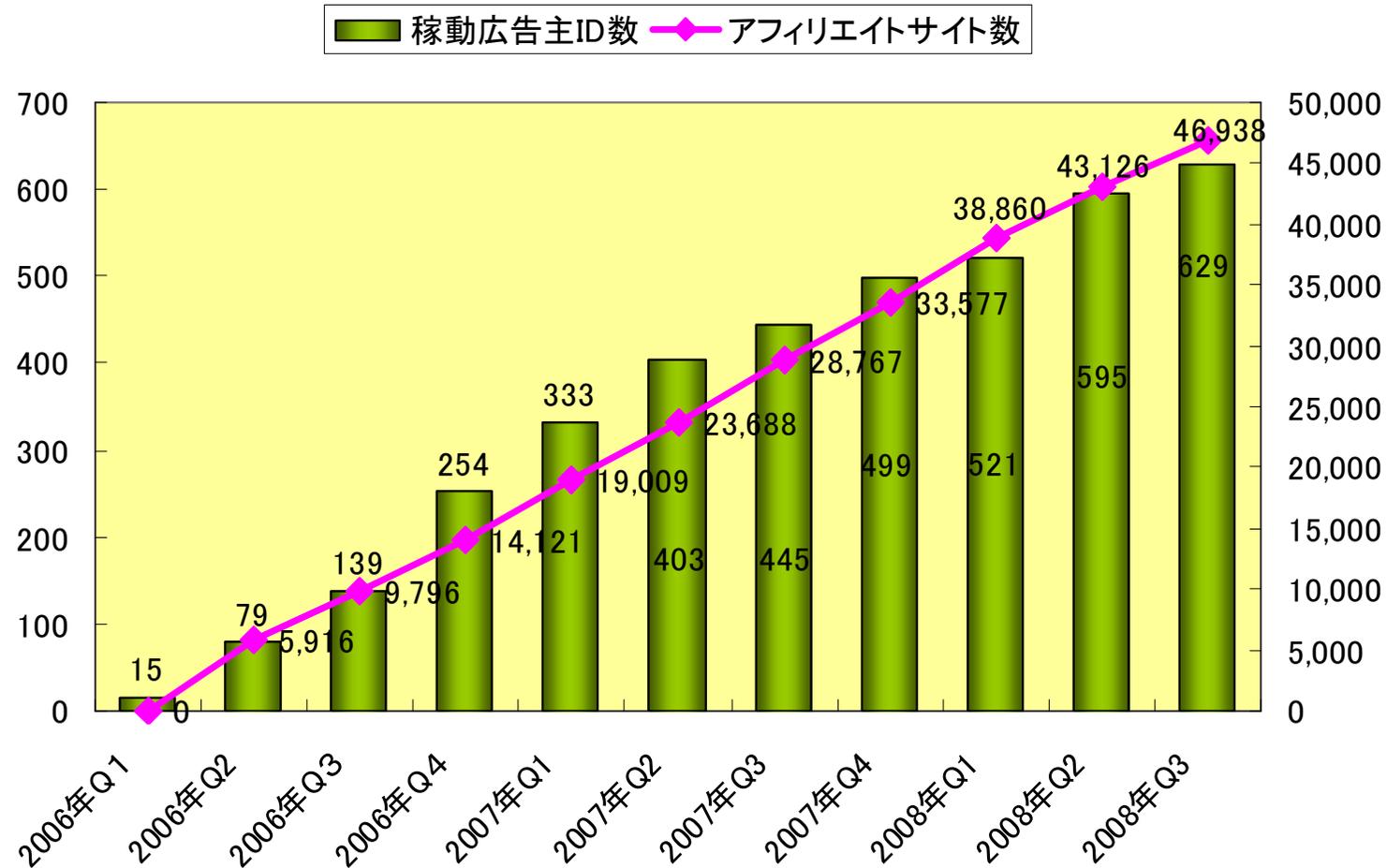
(単位: 千円)



1広告主あたりの売上高が改善した要因は、全体の売上高が増加した中で広告主数が減少したこと、個々の広告主で成果が出ているため。

Moba8.net

稼動広告主、アフィリエイトサイト数の推移



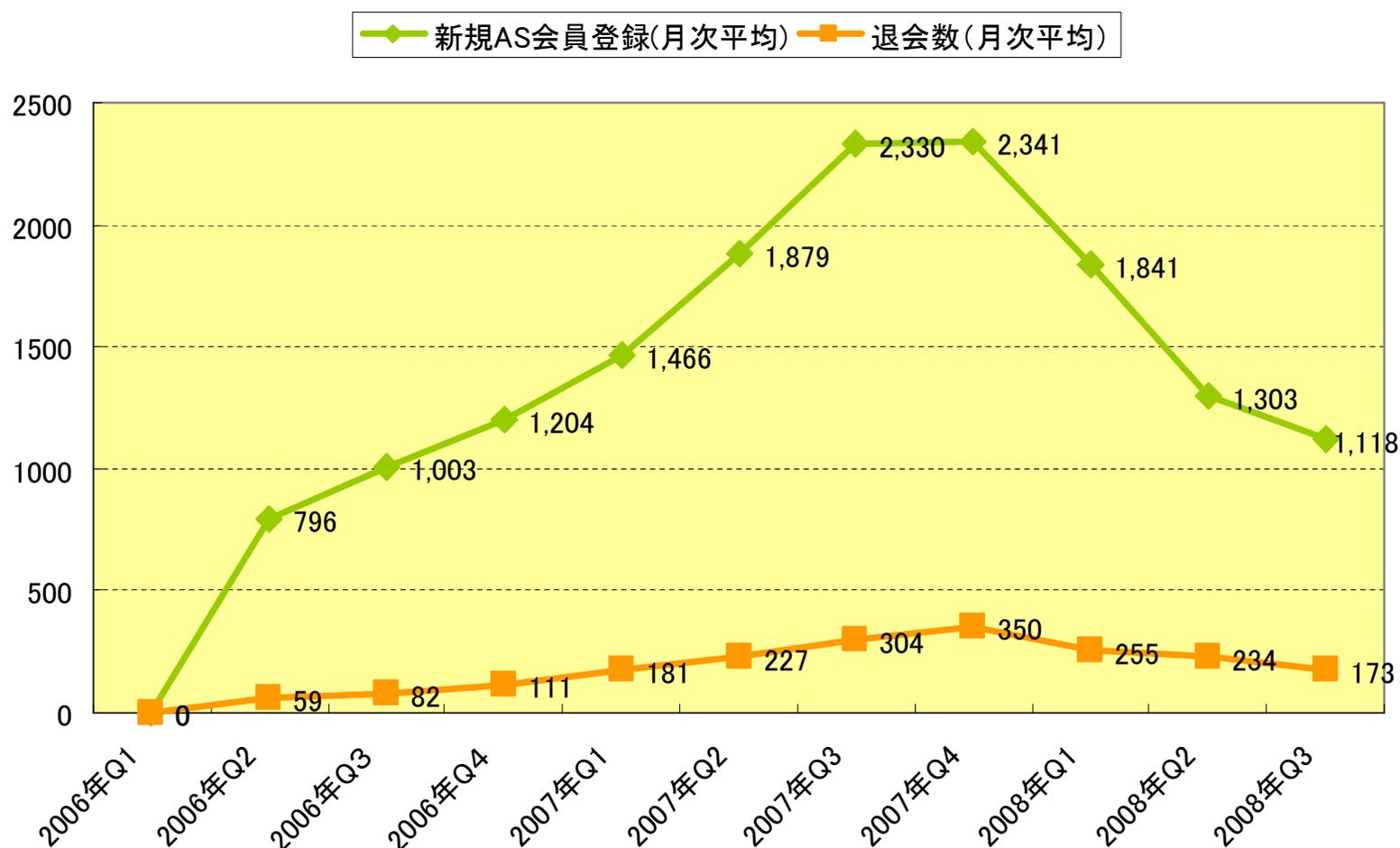
Moba8.netにおいてはアフィリエイトサイト数、稼動広告主数ともに順調に拡大している。今後もモバイルマーケットの拡大に合わせMoba8.netが成長していくことが見込まれる。

広告主の新規稼動、解約数の推移



Moba8.netの新規稼動広告主は波があるものの増加傾向にある。解約数がやや増加トレンドにあるのは、母数となる稼動広告主が増加しているためと考えられる。

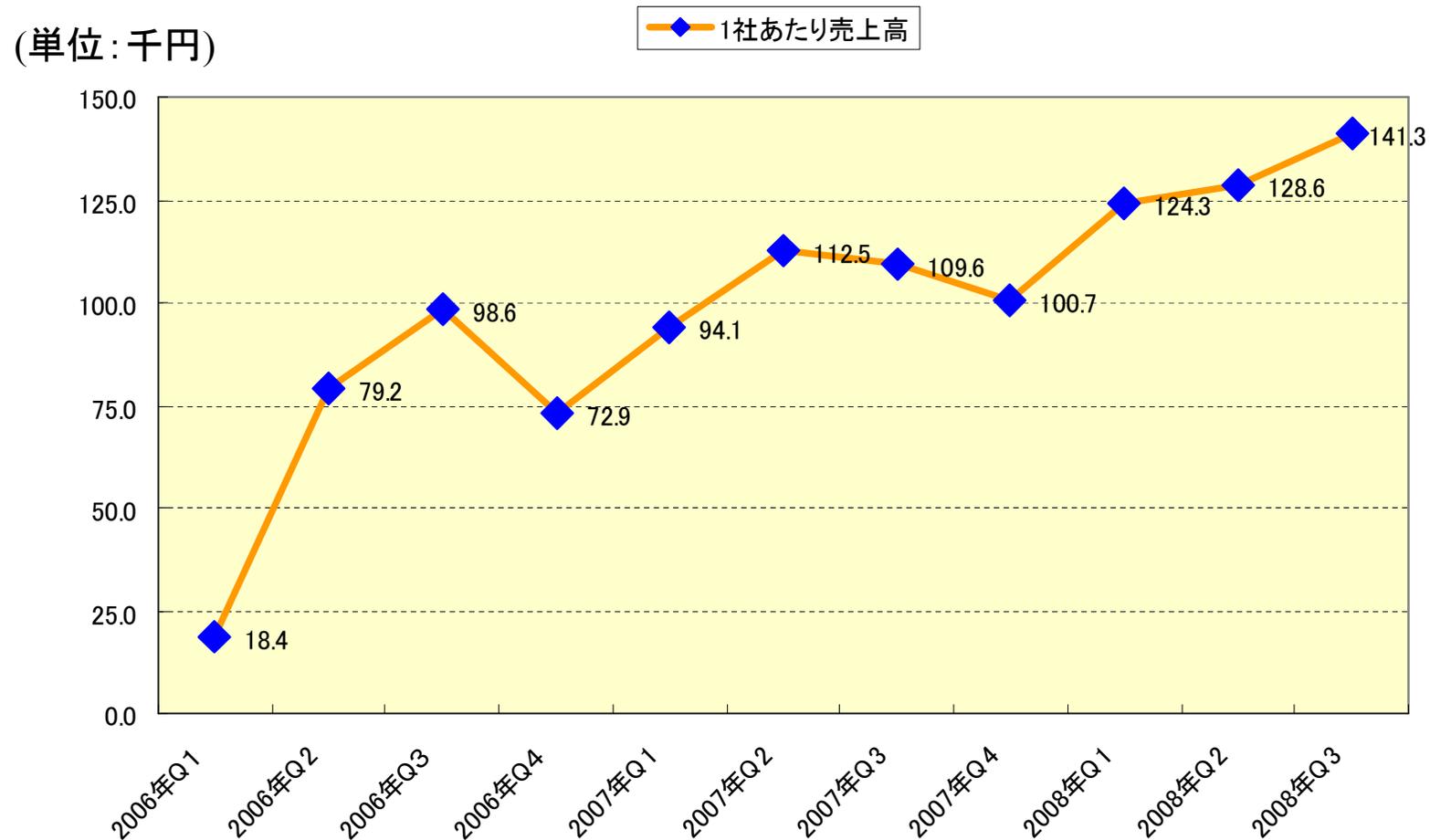
AS会員登録・退会数の月次平均推移



Moba8.netの新規AS会員登録は鈍化。これは数より有カメディアの開拓に力を入れているため。

Moba8.net

1広告主あたり月次売上高平均推移



1広告主あたり月次売上高は、トレンドとしては増加傾向にある。2008年Q3は過去最高を記録。

自社媒体一覧

<携帯向け自社運営サイト>

- aqubee!(アクビー).....携帯向け検索・ブックマーク共有サイト
- アウケン.....携帯向けディレクトリ型検索サイト
- SEEKENモバイル.....比較情報サイト「SEEKEN」の携帯版
- RANKUNIT.....ランキングポータルサイト
- ベロフリー.....無料サービス情報
- サンプルファンモバイル...無料サンプル情報
- 夕刊フジBLOGモバイル...「夕刊フジBLOG」の携帯版
- 歌ネットモバイル.....携帯向け無料歌詞検索サービス

<PC向け自社運営サイト>

- SampleFan.com.....試供品などの情報サイト
- 夕刊フジBLOG.....夕刊フジに掲載された記事を無料再配信
- SEEKEN.....比較情報サイト
- ズバケンネット.....商用サイト専門の検索サービス



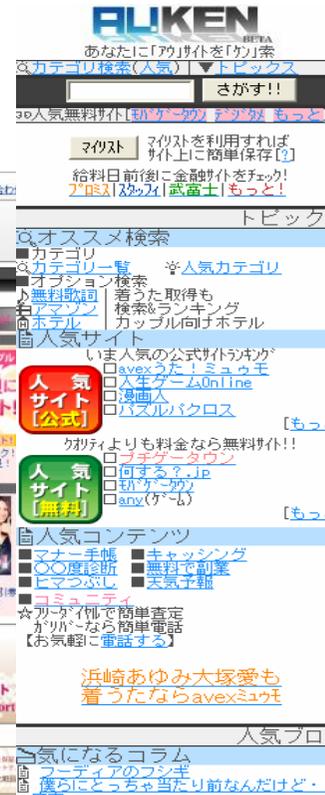
參考資料

現在展開中の自社媒体

モバイル検索ポータル
Aqubee!



SampleFan.com
サンプル配布会員制サイト



モバイル検索サイト
アウケンauken.jp



歌詞検索
Uta-Netモバイル

タ刊フジモバイル



経営ビジョン

究極のアフィリエイトマーケティングカンパニーを目指して。

「究極のアフィリエイトマーケティング」とは、最高のアフィリエイトテクノロジーと知識と経験を活かして、広告主、アフィリエイトサイト、消費者の3者間に最大最適なWin-Win-Winの関係を構築することである。

「究極のアフィリエイトマーケティング」を実現することは、広告主にはマーケティングコストの最適化を、アフィリエイトサイトには継続的な収益の最大化を、消費者には消費コストの低下やサービス品質の向上など継続的なメリットの拡大をもたらす。

私たちはこの「究極のアフィリエイトマーケティング」を実現する企業として存在し、ネット時代にふさわしい生産・販売・消費サイクルの構築にかかわり、新しい付加価値を創造し、社会に貢献するものである。

会社概要

■ 会社名	株式会社ファンコミュニケーションズ (英文表記: F@N Communications, Inc.)
■ 証券コード	2461(JQ)
■ 決算期	12月
■ 設立	平成11年10月1日
■ 資本金	9億2,810万円(平成20年4月22日現在)
■ 代表取締役社長	柳澤 安慶(やなぎさわ やすよし)
■ 従業員数	107名(平成20年9月30日現在) ※パートタイマー除く
■ 本社所在地	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷1-1-8 青山ダイヤモンドビル
■ TEL	03-5766-3530(IR)
■ FAX	03-5766-3782

免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにも全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになれるようお願いいたします。

記載内容については細心の注意を払っておりますが、記載された情報の誤りやデータのダウンロードなどによって生じた障害などに関しましては、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行われないようにお願いいたします。

お問い合わせ先

株式会社ファンコミュニケーションズ

TEL: 03-5766-3530

E-mail: ir-info@fancs.com